

授業科目	韓国語発展					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	韓 京我						
授業概要	韓国語入門で学習したことをベースに、韓国語の単語や身近な事柄について会話表現を中心に学び、自己表現とともに他者理解ができるようになることを目指す。なお、授業は指定の教科書を中心に進めるが、受講生の理解を助けるため、補充資料や練習用プリントを用いることがある。						
授業形態	対面授業			授業方法			

## 学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	簡単な文章を書くことができ、韓国語で質問し、その答えを聞き取り、自分の一日の行動が話せる。 1. 学習した決まり文句や返事・あいづちを適切に使えるようになる。 2. 自分や相手に関する事柄について、簡単な会話ができる。 3. 授業で学習した単語や文法を使って書かれた文章を理解し、正しく読んだり、書いたりすることができる。
理想的レベル	1. 簡単な韓国語に受け答えすることができる。 2. テーマについて簡単な作文ができる。 3. 日常生活における基本的なコミュニケーションの方法を身につけること。

## 評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	50%	定期試験
小テスト	15%	授業中の小テスト
レポート	0	
発表（口頭、プレゼンテーション）	15%	「私の一日」の作文・発表
レポート外の提出物	10%	課題
その他	10%	平常点(授業への参加度、受講態度)

## カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	ナンバリング	EN10606J T010606J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------------------

## 学習課題（予習・復習）

1. 予習・復習として、教科書添付の音声ファイルを活用して対話になじむように取組むこと。 2. 指定された課題は必ず取り組み提出すること。 3. 授業1回分に対する予習・復習は2時間以上取り組むこと（課題を含む）。	4
---	---

## 授業計画

第1回	授業の進め方及び評価方法について 韓国語入門での主要学習事項について復習 第12課 所属と学年
-----	---

2025 年度

授業コード : SOJ07700

第 2 回	第 12 課 何の～、学年の言い方、～も 第 13 課 サークル
第 3 回	第 13 課 하다用言、～を、好みの表現
第 4 回	第 14 課 持ち主、指し示す言葉、所有・所属表現
第 5 回	第 14 課 名詞文の否定 第 15 課 存在、ある・いる/ない・いない
第 6 回	第 15 課 二重パッチムの発音、해요体 (-ます/です)、～に
第 7 回	第 16 課 年齢、年齢の言い方、～ですね、～で
第 8 回	第 12~16 課の主要学習内容について復習 中間テスト(会話テスト・筆記テスト)
第 9 回	第 17 課 関心と好きなもの、琉音化、～が、～と
第 10 回	第 17 課 丁寧化の語尾 -요/이요、～(し)て 第 18 課 日常のおこない
第 11 回	第 18 課 否定表現、해요体の縮約形、～けれども、～で
第 12 回	第 18 課 「나의 하루 私の1日」を作文 第 19 課 過去のできごと
第 13 回	「나의 하루 私の1日」を発表
第 14 回	第 19 課 過去の해요体、過去の해요体の縮約形、～(し)に
第 15 回	第 17~19 課の主要学習内容について復習 全体的なまとめ
テキスト	長谷川由紀子 著 『コミュニケーション韓国語 聞いて話そう I』 白帝社
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	隨時紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	1. 提出された課題を返却する。 2. 課題や小テストの正答を公開し、書き直す。
学生へのメッセージ・コメント	1. 予習・復習はもちろん、ハングルの読み書きを徹底練習すること。 2. 習い覚えた韓国語を日常生活の中でどんどん使う習慣をつける。 3. 毎回小テストや会話練習を行うので、休まず積極的に取り組んでください。